

(様式第4号) 平成29年度第2回上田市スポーツ推進審議会 会議概要

1	審議会名	平成29年度第2回上田市スポーツ推進審議会
2	日時	平成30年1月19日 午後7時から8時30分まで
3	会場	教育委員会 第1会議室
4	出席者	小林会長、大槻委員、関委員、久田委員、廣川委員、宮本委員、山崎委員、渡辺委員
5	市側出席者	教育次長、スポーツ推進課長、丸子地域教育事務所長、真田地域教育事務所長、武石地域教育事務所長、スポーツ施設係長、スポーツ推進係長、東日本総合計画㈱(計画策定支援業務受託者)
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成30年2月2日

協議事項等

1	開会(スポーツ推進課長)	
2	あいさつ	
	会長	上田西高校のサッカー部全国ベスト4、また上田市から2名のオリンピック選手が誕生するなど、新年早々上田市が素晴らしいスタートを切った。今後どのような施設整備を考えていくか、皆さんの意見をお聞きしスポーツのまちづくりにつなげたい。
	教育次長	上田西高校が全国3位という長野県初の快挙。1/17(水)に上田市文化会館で西高の報告会兼市長表彰式を開催した。また、平昌オリンピックに上田市出身選手が2名出場することとなり、お祝いとPRのため、この駅前ビルパレオに懸垂幕を掲示した。ぜひご覧いただきたい。壮行会も近日中に行う予定。スポーツ施設整備に関しては、各団体から様々な施設設備への要望が挙がっているが、今回の審議会で現況評価の説明を聞いていただき、皆さんの御意見を頂戴したい。
4	議事	
	(1) 上田市スポーツ施設整備計画 施設の現況評価(1次評価)について	
	(2) 上田市スポーツ施設整備計画 施設の整備基本方針(2次評価)について	
	事務局	議事(1)説明
	会長	議事(1)について質問や意見があれば発言されたい。
	委員	1次評価のところで、安全性・機能性、経済性、耐震性の3つの基準があるが、安全性・機能性の項目が多く見られる。評価する際の各項目の重みづけについてお聞きしたい。どのような形で青色・黄色・赤色という評価にしたか。また、ABCDから点数化するのに何かの基準に基づいて評価(良か劣に)したのか。
	計画策定支援業務受託者	「1次評価の概要」資料の3~4ページに「評価基準の考え方」を示しているが、各項目を総合的に良・劣という形で判断評価をしている。個別に関しては現地調査、その他整理収集した情報をもとにABCDを決めている。
	事務局	議事(2)説明
	会長	No.1 上田城跡公園体育館~No.20 県営上田野球場まで説明 施設が多いため区切りながら進行する。
	委員	No.1~No.20について質問や意見があれば発言されたい。 新しい施設の建設や、現状維持等の言葉がスポーツ推進課の考え方として載っているが、どの程度予算があり、どんな規模のもので、どれくらい費用がかかるのか。
	事務局	施設の面積や施設に付帯させる機能によって費用に大きな変動がある。数年前までは、建設単価が現在ほど高騰していなかったが、オリンピック開催や作業員の労務単価上昇の関係で、建設単価が高くなってきている。塩尻市や安曇野市を見ると、当初の計画時には20数億円だったものが38億円になっている例もある。現在の城跡体育館は第一と第二を合わせて約5,500㎡だが、例えば同じ大きさのものを作るとしても、入れ込む機能により費用が大きく変動するため、どの程度コストを要するか現状では言えないところ。35~40億円、中身によっては50億となる場合もある。また、建設場所によって土地の取得費用が必要。基本構想の中では、できるだけ7つのゾー

ンに集約していくということを示しているが、そうすると、古戦場公園の周辺や、自然運動公園の周辺に集約していく事が現実的かと思う。そうした場合、この周辺は、古戦場公園の開発が進んでおり、農地の値段がかなり高くなることが想定される。また自然運動公園に集約していく場合、東山は上田市所有の土地だが、造成のため相当な費用が必要。それらを考えていくと多額の費用がかかるということと、併せて、その費用はどのように捻出するのかということになるが、これも大きな課題。市町村合併により、合併特例債という有利な起債を今までサントミュージアムや小中学校の整備等に活用してきている。ただし、上限なしで使えるわけではないので、その上限はあと数10億程度。しかも学校は、定期的に更新していかなければならないため、体育施設にその残りのすべてを使うという事は現状のところでは難しい。全体の整備計画が終わった後に個別の施設に対して、皆さんに諮問をして検討していただくことになる。費用のことを考えると、何もつくれなくなってしまうという懸念がある。そのため、場合によっては、新たな補助制度ができる可能性がある。また、新しく有利な起債がでてくる可能性もあるため、長いスパンで見ていただいて、施設はこのような形がいいのではないかと、そもそも人口減少が続いていく中で、この施設は不要ではないかという視点で意見をいただいて、それを2次評価として集約して、審議会としての答申にさせていただければと思う。

事務局
委員
事務局
委員

No.21 城跡公園陸上競技場～No.50 武石総合グラウンドまで説明
特になし

No.51 上田城跡公園東テニスコート～No.68 ふれあい真田館のプールまで説明
資料を見るとグラウンドやテニスコートはそれほど費用がかからないと思うが、市民の森スケート場などは維持する設備が建物よりも劣化するということが考えられる。例えば先日ふれあいさなだ館のプールに行こうとしたらボイラーが故障していて使えなかったということがあった。この施設は長寿命化とあるが、施設はいいけれど中の機器が故障しているということでは長寿命化とは言えない。優先順位を変えるなどした方が良いところも出てくるのではないかと。

事務局

ふれあいさなだ館もだいぶ古くなってきており、随時修繕し、市でも体育施設全体の中で優先順位を上げて取り組んでいる。計画的に、修繕・改修工事を行っていきたい。あくまでも長寿命化というのは、各施設において、設備がだめであっても、1次評価として長寿命化という判断をしたのであれば、さらに設備の更新をして延命化を図っていくということである。その上で2次評価において政策的に、あるいは地域の状況を踏まえて判断をする。収入が減ったり、設備投資に膨大な金額がかかることがあれば廃止するか、収入は少ないが利用者が多いため長寿命化を図っていくなど、2次評価で意見を入れて成案にしていくということになる。例えば市民の森公園スケート場は今の1次評価の段階では再整備、廃止となっているが、学校のスケート教室で使っているため、お金がかかっても残してほしいとなれば、それはその方向で2次評価の段階で長寿命化を図っていく形になるということもある。スポーツ推進課で現状1次評価がこのようになっているが、これはこの方がいいのではないかと意見もいただきたい。

事務局
会長

No.69 小牧橋マレットゴルフ場～No.102 市民の森わしば山荘宿泊所まで説明

資料と説明を受けたが皆さんから見ても難しいところがあると思う。この後は改めて事務局から計画案が提示され、この審議会は最後のまとめという位置づけになると考えているが、今後出されてくる各体育協会加盟団体などからの意見も事務局で集約し、また各委員に見てもらいたい。

委員

市内には非常に多くの施設があり、その維持管理は大変だと思う。状況に応じ、地域ごとに集約することも必要ではないかと感じる。審議会委員の立場として発言が難しいと感じる点は、今後の維持管理を考えるとある程度の集約も必要だが、スポーツ振興という意味では、(施設を活用し)できる限り市民の方にスポーツに触れていただくという気持ちもあり、複雑な思いである。

会長

各地域から来ているので常日頃からの希望や課題を挙げてもらう事も大切かと思う。そして一番重要なことは、少子高齢化で施設がだんだん減っていくということは、共通の認識で持ってもらわないといけない。その辺を含めて意見を集約してほしいと思う。

5 その他

会長 次回の会議の日程を決めてもらいたい。

事務局

今後の予定について、2月及び3月に会議を開催し、3月の最終週には計画の答申案としておまとめをいただきたい。具体的には、次回、第3回のスポーツ推進審議会の日程について、会長の日程を踏まえ、できれば2月21日(水)、あるいは26日(月)、ともに夜間だが、この2日間でできればありがたい。

会 長

(各委員の予定を確認し26日(月)夜7時教育委員会第1会議室で決定)

6 閉会 (スポーツ推進課長)

課 長

ありがとうございました。なかなか難しい問題でご判断もされかねるというような状況かと思うが、私どもの考え方、また、地域の協議会、あるいは、体育協会の方にお伝えして、それに基づいて意見をいただき、最終的にこれらを集約するというところで次回会議はお願いしたい。長時間に亘る会議ありがとうございました。

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。